

“Intersection — Lighting Up The Carrall Street Greenway” 映像と光の芸術

9日に開幕

ダウンタウンイーストサイドのキャロル・ストリートとヘイスティングス・ストリートが交わるエリア『インターセクション』が、この秋、映像と光の芸術に包まれる。

参加するのは、このインターセクションで芸術振興活動を続ける2つのアートギャラリー、Centre A と

InterUrban Gallery。Centre A では、日本から駆けつけたアーティスト田中功起さんが、光を使った作品を展示。夜には同建物の窓をいっぱい使ってビデオ映像を映し出す。

その斜め向かいに立つInterUrban Galleryでは、地元アーティストのアレックス・マッキンジーさんを中心に若手芸術家たちが“The Velvet Light Trap”と題した展示会で作品を紹介。夜になると建物の各窓にこの通りをテーマにしたイメージ映像が映し出される。

今回のプロジェクトで中心的役割を果たしているCentre A ディレクターのハンク・ブルさんは、「多くのアーティストが参加してくれて大変感謝しています。たくさんの人にこのイベン



11月2日の記者会見に駆けつけた参加したアーティストたち。左端がブライアン・ニューソンさん、右端がポール・ウォンさん、その左隣が田中功起さん

トを見てもらいたい」と記者会見であいさつ。バンクーバー市代表でありさつしたブライアン・ニューソンさんは、「アートがこの辺りを照らしてくれることで、少しでも安全にこの辺りが人々の憩いの場になればいいと思います」と語った。

『インターセクション』は、11月9日（金）から12月8日（土）まで開催。最終日の夕方からは、バンクーバーを中心に活躍するアーティストのポール・ウォンさんによるインスタレーションフィナーレが贅沢に華麗に開催される。

詳しい情報は、www.lightupthestreet.ca を参照まで。

（取材 三島直美）